



沼中だより

7月号

2024年7月18日発行
逗子市立沼間中学校
校長 熊谷 啓明

学校教育目標：「個」・「心」・「力」

○校長先生より

いよいよ、夏休みが始まります。夏休みは生活が不規則になったり、開放的な気分になったりしますので、事故や事件に巻き込まれないように十分に気をつけましょう。また、ここ数年の日本の夏はとても暑いので、健康に留意して充実した夏を過ごしてください。

さて、夏の風物詩と言えば夏休みの宿題ですが、沼間中学校では原則夏休みには宿題を出しません。それは、そもそも授業中の指導・支援のない提出物を出さないことになっているからです。その理由に関しましては、昨年度の「沼中だより」12月臨時号に述べましたので、以下に引用いたします。

平成12年以降は、評価の仕方が「相対評価から絶対評価(目標に準拠した評価)に変わった」ということで、生徒たちに多くの宿題(いわゆる提出物)を課してきました。しかし、最近になって、宿題に関しては、生徒がただ提出するだけの「手段の目的化」になっているのではないかと指摘があります。例えば、定期試験の間違い直しや答えを丸写しにしたワーク、板書や教科書をきれいに写したり漢字や単語をただ何回も書いたりしたノートなどのことです。提出だけが目的となった宿題では、本当に各教科の「身につけたい力」がついているのかはわかりませんし、やらされる気持ちだけが育ち、主体的に学ぼうとする力は養われません。(沼中だより 12月臨時号 2023)

以前は、夏休みには各教科で大量の宿題が出されていました。しかし、大量のワークやプリントなどの宿題を課したところで、ほとんどの生徒たちにとってはやらされ感ばかりが募り、学習意欲の向上や学力アップに繋げることのできる生徒はほとんどいなかったのではないかと考えています。実際に、ワークやプリントなどに取り組みませ、自己採点をさせて提出させると、見事全問正解で提出する生徒がほとんどです。模範解答を丸写しにしているからです。さらに、多くの生徒たちは夏休みがみ終わる間際に宿題に取りかかり、字が読めないほどの走り書きをしていたり、提出期限を守れなくて諦めたりするなど、ほとんどの夏休みの宿題は提出することだけが目的になってしまっていました。このような課題は全く効果がないと考えています。

しかし、ほとんどの生徒は長い夏休みを有効に過ごしたいと思い、また、ほとんどの大人たちは子どもたちに充実した夏休みを過ごして欲しいと願っているはずですが。

充実した夏休みを送るために、まずは、この機会に主体的に学習に取り組んでみましょう。授業の予習や復習をやりたい人は、教科書やワーク、あるいは自分で問題集などを買って取り組むのもよいでしょう。特に3年生は受検が控えていますので、計画的に学習に取り組みましょう。「勉強の仕方がわからない」「勉強をやる気にならない」などと言う人は、ぜひ自分から先生に相談に行ってください(夏休み中は、研修や出張等で先生方が不在にすることもありますので、電話等で確認してから登校してください)。このような「主体的に学習に取り組もうとする態度」が、学力向上＝成績アップにつながるのです。

また、読書、映画鑑賞、芸術鑑賞など趣味に没頭したり、熱中症に気をつけながら部活動に参加したりするのもいいでしょう。私はここ数年、日本の歴史に興味を持つようになったので、歴史に関する本を読んだり、オンラインの歴史講座を視聴したり、実際に関東近県の神社を訪れたりする予定ですが、みなさんはいかがでしょう？

<図書室開放について>

最後に、今年度は夏休み後半の 8/19(月)~8/29(木)(8/22(木)、8/24(土)、8/25(日)を除く)9:00~12:00 の午前中に、図書室を開放します。涼しいところで読書や勉強がしたい人、先生に学習に関することやそれ以外のことで相談をしたい人、学校が始まる前に規則正しい生活習慣を取り戻したい人たちはぜひ沼中図書室を利用してください。今回は生徒のご家族(保護者、おじいちゃん、おばあちゃん、兄弟姉妹など)にも開放していますので、お気軽にご利用ください。

○学年より○

<3年>

修学旅行を終えた3年生は、この修学旅行で学んだことを班ごとにスライドでまとめ、発表しました。特に、京都班別行動の報告の部分では、各班それぞれが行った名所や体験談、あるいは何を食べたかなど、互いに興味があり、質問をしたり歓声をあげたりと、盛り上がっていました。

この発表を見ていて、まとめの時間は十分でなかったのですが、まとめ方やスライドの作り方、そして聞き手を飽きさせない発表の仕方など、とても上手になっていて3年間での成長を感じました。

部活では、最後の大会を迎えた生徒も多く、様々な場面で活躍した7月だったようです。この夏休みは、学校見学に行くなど、進路選択に向けてまた大きな一歩を踏み出すことになると思います。実際に見て、聞いて、感じて、自分でしっかり考えて、目標にむかってがんばってほしいと願っています。

<2年>暑さに負けず、日々元気に過ごしている姿が見られます。6月に実施した自然体験学習からの学校生活は、なんだかとてもよい雰囲気になりました。時間を守ろうとする意識だったり、みんなと協力しようとする意識だったり、自分から動こうとする意識だったり。37期生一人一人が、集団として協力しようとする姿が多く見られるようになりました。とても素敵です。

学習においても、主体的に取り組む姿があり、勉強しよう、がんばろうという雰囲気が出てきます。一人ひとりペースは違えども、一步一步前に進もうとする気持ちがあるように思います。是非、ちょっとでも成長したこと、できるようになったことを自分で自分を褒めてあげてください。

いよいよ夏休みです。充実した日々を送ってください。充実ってなんでしょうね。人によって違うと思いますが、遊びも学習も探究もまずはちょっとのトライをしてみてください！ちょっとの努力で可能性が広がります。いろんな発見、いろんな体験、リフレッシュ、とにかく楽しむことが大事！夏休み明けまた会えるのを楽しみにしています。

<1年>連日の猛暑が続く7月5日(金)朝8時、校長・岩本代表・私は職員室で厳しい顔となっていた。実地踏査の是非の判断が問われていたのである。『やろう』といった校長判断に私は、安堵しました。安全面から中止もやむを得ない状況でした。下記の画像は、何の物だか分かりますでしょうか。



これは、逗子市内 34 度の猛暑の中、38 期の生徒が 5,6 校時で活動した成果です。私たちの 38 期にとって初めての校外学習を全員無事に実施することができました。訪れた沼間小学校、森の郷介護福祉施設、コミュニティセンター等の逗子の温かい方々に囲まれ見守られながら、目的を遂行することができました。本当に、各班が暑さの中、まさに、一生懸命活動に取り組んでくれました。

この活動にしっかりと望めたことは、38 期のこれからの校外活動・特別活動の絶好なスタートとなったと 38 期教職員全員が確信しています。正直なところ暑さの為ぼうっとなっていたり、家も

近いところでの活動であった為帰りたい生徒もいたとは思いますが、全 14 班すべてがゴールへとたどりつきました。最後のチェックポイントでみんなの顔が真っ赤やピンクになっていたことを生徒の顔を見るたびに思い出します。早三か月過ぎましたが、38 期の底力を感じました。

どんどん楽しい企画や校外学習、イベントなどをできたらいいなあと考えています。家庭での子どもとの会話の中から何かいいアイデアや企画等ありましたら学校まで(飯塚)までご一報下さい。それでは、次回また沼間だよりでお会いできることを楽しみにしております。勝手に選びました下の2枚のショットも添えさせていただきます。

素晴らしいご子息を育てて頂き、沼間中学校を選んで頂き本当に心の底からありがとうございます。全班の実地踏査の活動内容は、地域の方々に発表予定ですのでご期待下さい。

眞玉だ、暑い日が続きますが、これからも宜しくお願いいたします。



○お知らせ○

次回の授業参観期間の日程が決まりました。今回は、前回のように確認票の提出がありません。9月17日～10月18日までなので、月間という名称でなく”授業参観期間”となりました。また、9月に改めてお知らせしますが、ご承知おきください。

●夏休み図書館開放について

8月19日(月)～8月29日(木) 9:00～12:00 *8月22日(木)と土日は除く
この期間に沼間中の図書館を開放致します。

目的:生徒に読書や学習をするための場所の提供

内容としましては、①開放時間中に読書や自主学習をする。②本の貸し出しは行わない。③教員が開錠・施錠を行い、見守りとして1人は図書室につきます。④保護者の図書ボラの方がいらっしゃる場合もございます。